

白き流れの ままたにの

萩田原崇雄展

2025
9/21 sun
—
12/25 thu

〔開館日〕水・木・土・日曜日 11時～16時（入館は15時30分まで）

〔休館日〕月・火・金曜日 〔入場無料〕

〔会場〕緑ヶ丘美術館・別館

〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘1426-38

〔URL〕<http://mam-museum.com>

〈お問い合わせはFAXで：FAX 0743-8517879〉

MAM-ANNEX

Midorigaoka Art Museum

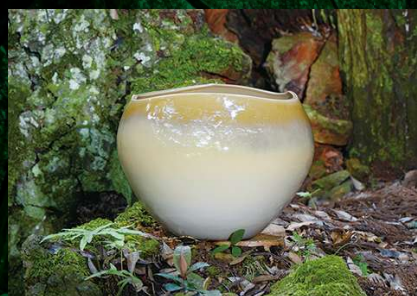
緑ヶ丘美術館・別館

連綿と続く白き流れのなかで 築き上げていく萩焼の革新

山口県北西部、長門湯本温泉にほど近い三之瀬の地で育まれたもう一つの萩焼「深川萩」。田原崇雄は、その深川萩五窯の田原陶兵衛工房で創作を行っている。古窯跡に残された古い陶片からヒントを得て出来上がった「流白釉」の器。伝統的な土と釉薬を活かしながら独自の造形に昇華させた「纏景の器」。

四百二十年に渡る萩焼のなかで守られてきた技術を注ぎ込んだ茶碗。それら全てが確固たる存在感を示しながら、見る者に萩焼の歴史と未来を語りかけてくる。

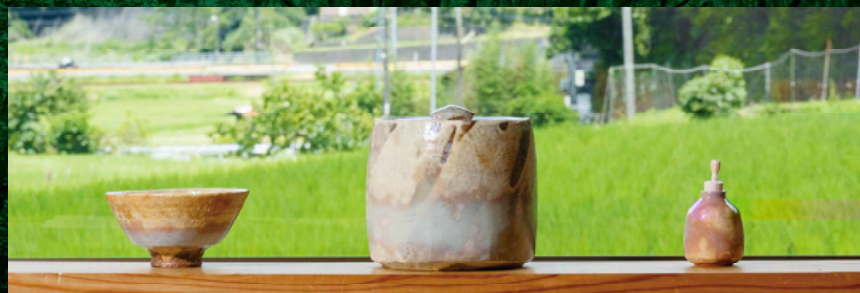
萩焼独特の白土を用いた表現法や黄白の釉。そうした白き流れを汲み、展開させた新しい形。田原崇雄が生み出す萩焼の伝統と革新の形を、どうぞご覧ください。



流白釉器



流白釉鉢



萩茶碗・釉彩水指・釉彩振出



纏景の器



鉄釉彩花器

田原崇雄（たはら たかお） 略歴〈プロフィール〉

- 1982 山口県長門市に生まれる
 - 2005 東京藝術大学美術学部彫刻科 卒業
卒業制作展 菅原賞 受賞
 - 2007 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻 修了
横浜美術短期大学にて非常勤助手勤務（～2010年）
 - 2010 美濃の陶芸家・豊場惺也氏に師事
 - 2011 父・十三代田原陶兵衛に師事 作陶に入る
 - 2014 現在形の陶芸 萩大賞展Ⅲ 入選（以後2回）
山口伝統工芸展 朝日新聞社奨励賞 受賞（以後2回）
 - 2015 日本陶芸展 入選（以後1回）
田部美術館大賞「茶の湯の造形展」入選（以後6回）
陶美展 入選（以後2回）
 - 2016 日本伝統工芸展 入選（以後7回）
山口県美術展覧会 優秀賞 受賞
HAGI NEW GENERATION 陶「線と意匠」（山口県立萩美術館 浦上記念館・山口）
 - 2017 萩傳流－若手作家六人展－（柿傳ギャラリー・東京）以後隔年で開催
京畿世界陶磁ビエンナーレ2017（韓国）
－而今－ 萩八人の茶碗考（山口県立萩美術館 浦上記念館・山口）
 - 2018 美濃茶盃展 入選（以後1回）
「ジャポニスム2018」に参加、フランス各地にて作品展示・講演（パリ/リヨン/グルノーブル・フランス）
 - 2019 山口伝統工芸展 日本工芸会山口支部長賞 受賞
萩 田原崇雄 作陶展（日本橋三越本店・東京）
 - 2020 日本陶磁協会現代陶芸奨励賞 中国・四国展「鑑賞」部門 奨励賞 受賞
 - 2021 重要無形文化財「白磁」伝承者養成技術研修会（～2022年）
菊池ビエンナーレ 入選
 - 2022 山口伝統工芸展 朝日新聞社賞 受賞（以後1回）
法基陶磁国際公募展 大賞 受賞（韓国）
 - 2023 現在形の陶芸 萩大賞展Ⅵ 佳作
現代茶陶展 入選
 - 2024 現在ノ茶陶 水指ト茶碗展15-II（緑ヶ丘美術館・奈良生駒）
エッフェル塔茶会（パリ・フランス）
- 現 在 日本工芸会正会員 萩陶芸家協会常任理事
日仏茶道交流会副代表

パブリックコレクション

緑ヶ丘美術館（奈良生駒）、在英国日本大使館（イギリス）、
在リヨン領事事務所（フランス）